

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	大崎不登校を考える会	
代表者名	高橋 雅道	
連絡先	TEL : 090-8561-4267	E-mail osakiforchildren@gmail.com
FAX :		

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	不登校を考える親の会
事業の目的	<p>2017年12月に大崎市古川にて不登校を考える親の会を初めて開催し、2020年2月までに合計9回、約140名もの方がご参加いただき、不登校に関する関心や情報を広げることができました。</p> <p>中でも、不登校のお子さんをお持ちの親御さんの悩みを共有する場合は、親御さんご本人にとってもお子さんにとっても必要であり、引き続きこのような機会を創り続けることが社会貢献活動の1つとなると捉えました。</p> <p>2020年度も引き続き定期的に親の会を開催し、不登校で悩む親御さんのつながりをつくることを目的として活動を行いました。</p>
事業の具体的内容	<p>以下、2種の親の会を開催し、当事者の親の悩み共有と、不登校理解の普及を行います。</p> <p>① 不登校・多様な学びを考える会 不登校支援活動やフリースクール運営など、全国レベルで行っている講師をお呼びし、大会場にて講演会と座談会を行います。</p> <p>② 親カフェ 当事者の親のみが参加し、市内の会議室等にて10名程度の小人数で開催。 より悩みの相談や共有をしやすい雰囲気の中で親どうしが繋がれる場所を提供します。</p>
活動の開始から完了までの流れ	<p>上記の内容にて、①を年3回、②を年8回の開催を計画していました。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響によ</p>

	<p>り、公共施設の使用制限や禁止、遠方への移動の自粛等が続き、計画していた会を開催することが困難となりました。</p> <p>以下のとおり計画変更を行い、事業実施に至りました。</p> <p>① 不登校・多様な学びを考える会については、新型コロナウイルスの終息が見込まれる2月～3月にかけて開催。開催時は感染予防対策を徹底した上で行いました。また、オンラインでの参加も呼び掛けました。</p> <p>② 親カフェについては、公共施設の使用ができないため、急遽会場を大崎市岩出山に開設しているフリースクール【フリースペース道】に変更し、参加人数も5名程度に減らして、感染予防対策を徹底した上で開催。</p> <p>以上より、①については下記の通り開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月28日(日) 開催場所：色麻町農業改善センター 参加者：来場20名、オンライン参加15名 ・3月28日(日) 開催場所：大崎市図書館 研修室 参加者：来場12名、オンライン参加8名 ・②については下記の通り開催 開催日：6月21日(日)、7月19日(日)、9月20日(日)、10月18日(日)、11月15日(日)、1月17日(日) 参加者延べ人数：25名
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初の活動計画を大幅に変更せざるを得なかったが、いずれの会も大きな反響がありました。</p> <p>具体的な成果については以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペース道（フリースクール）への入会2名 考える会および親カフェ参加者から、フリースクールに入会したお子さんが2名いました。 また当事者の親御さんどうしがつながりを持ち、会終了後も交流を続けるようになりました。 ・色麻町での考える会初開催 今回、色麻町で初の不登校・多様な学びを考える会を開催しました。色麻町には、今まで不登校理解や支援に関するイベントがほとんどなかった中、来場の参加者が20名にも及びました。

	<p>・オンライン参加による他地域からの参加 今回、新型コロナウイルス感染防止対策の一つとして、考える会についてオンラインによるイベント参加を初めて試みました。</p> <p>2回のイベント合計で23名ものオンライン参加があり、宮城県外から参加された方もいらっしゃいました。今後のイベント開催に向けて、オンライン参加の可能性を感じるきっかけとなりました。</p>
今後の展望など	<p>新型コロナウイルスの感染が続いている中の活動になりますが、引き続き月に一回の親の会と、講師をお迎えした講演会＋座談会による意見交換会を開催していきます。</p> <p>そして、不登校に関する理解や支援が更に広がるよう、活動を進めて参ります。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	80,000	
親カフェ参加費	12,500	
寄付金	1,912	
合計	94,412	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
イベント開催費	講師講演料	30,000	51,000
イベント開催費	講師宿泊費	30,000	0
イベント開催費	講師交通費	60,000	0
イベント開催費	会場利用費	11,000	1,000
食費	参加者お茶代	22,000	6,842
備品代	事務用品代、チラシ印刷代	5,000	2,611
合計		158,000	61,453

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー (郵送)

③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。

不登校・多様な学びを 考える会 in 大崎

「不登校・多様な学びを考える会」は、不登校のお子さんをもつ親御さんや、その支援者、教育関係者、多様な学びに関心のある方々が集まり、互いに交流しながら、子どもたちの不登校や多様な学びについて理解を深める会です。

3月28日（日） 午後1時30分～4時30分

会場：大崎市図書館 2F研修室1・2（JR古川駅より徒歩10分）

【入場無料】 ※新型コロナウイルス対策により、20名限定申込とします。

【特別トークセッション】

「これからの不登校支援の連携について」

宮城県内でフリースクール等の子どもの居場所団体を運営している代表3名による特別トークセッション。今まさに官民連携に向けた活動を続けているからこそ、みなさんに伝えられる大変貴重な機会です。

【パネリスト紹介】



一般社団法人フリースペースつなぎ
代表理事 **中村みちよ氏**



NPO法人こども∞ (むげん) 感ばにー
代表理事 **田中雅子氏**



フリースクール心のテラス
代表 **坂井純也氏**

オープニング 13:30～13:50 宮城の不登校の現状とフリースペース道の活動紹介

第1部 13:50～14:50 特別トークセッション「これからの不登校支援の連携について」

【第1部のみ、zoomによるオンラインでの参加も受け付けます。】

第2部 15:10～16:30 座談会 ※第2部は希望者のみの参加となります。

■主催「大崎不登校を考える会」

■協力「NPO法人ルネッサンスファクトリー」

■後援 大崎市教育委員会

<お申込み・お問い合わせ>

TEL：090-8561-4267（担当：高橋）

E-mail：osakiforchildren@gmail.com

◆本会は、『みやぎ生協福祉活動助成金』の助成により運営されています◆

不登校・多様な学びを 考える会 in 色麻

「不登校・多様な学びを考える会」は、不登校のお子さんをもつ親御さんや、その支援者、教育関係者、多様な学びに関心のある方々が集まり、互いに交流しながら、子どもたちの不登校や多様な学びについて理解を深める会です。

2月28日 日 13:30 - 16:30

■会場：色麻町農村環境改善センター 多目的ホール

宮城県色麻町四竈字北谷地142番地（色麻町民体育館向かい）

【入場無料】 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため、会場は20名限定。

※第1部のみzoomによるオンラインでのご参加も受け付けます。

「不登校の子どもたちとの活動と居場所支援のあり方」

宮城県内でフリースクール等の子どもの居場所団体を運営している代表3名による特別トークセッション。不登校の子どもたちと直に接しているからこそ、みなさんに伝えられることがあります。大変貴重なトークセッションです。ご参加お待ちしております。

《パネリスト紹介》



NPO法人まきばフリースクール
(栗原市)

理事長 武田和浩 氏



Social Academy 寺子屋
(大崎市)

代表 高橋信行 氏



ふとうこうカフェ
(仙台市)

代表理事 武山 理恵 氏

特別
トーク
セッション

オープニング 13:30～13:50 宮城の不登校の現状とルネッサンスファクトリーの活動紹介

第1部 13:50～14:50 特別トークセッション「不登校の子どもたちとの活動と居場所支援のあり方」

【第1部のみ、zoomによるオンラインでの参加も受け付けます。】

第2部 15:10～16:30 座談会 ※第2部は希望者のみの参加となります。

■主催 NPO法人ルネッサンスファクトリー ■協力 大崎不登校を考える会

■後援 色麻町教育委員会

お申込・お問い合わせは

TEL：090-8561-4267（担当：高橋） E-mail：osakiforchildren@gmail.com

■本会は、『赤い羽根 子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン』の助成により開催します。

不登校支援の連携を

古川でトークセッション

不登校の児童生徒に居場所や学びの場を提供しているフリースクール運営者によるトークセッションが3月28日、大崎市図書館で開かれ、「これからの不登校支援の連携について」をテーマに意見を交わした。

(仙台市)の3人。高橋代表が司会進行した。

連携も大事」と訴えた。12年前から仙台市で

フリースクールを運営している坂井さんは「これまで、子どもたちを助けたいという人々と何度か連携しては破綻した。支援方法や関わり方で評価したり競い合ったりして上

下関係が生まれ、自分と子どもたちが蚊帳の外に置かれるようになった」と体験を紹介。その上で「同じ覚悟や意志を持った人同士でないと発展しない」と述べた。

民間フリースクールの連携について中村さんは、学校以外の多様な学習が認められていることなどが明記された「教育機会確保法」(2017年施行)の周知不足を指摘。「まずは確保法や不登校についての周知と理解が必要。一番大切なことは一人一人の子どもたちの声を聞いて信頼関係を築くこと。不登校児童生徒の親も孤立しているため、親同士の

市民団体「大崎不登校を考える会」(高橋雅道代表)が「不登校・多様な学びを考える会 in 大崎」と題して実施。パネリストは中村みちよさん(気仙沼市)、田中雅子さん(石巻市)、坂井純也さん



連携をテーマに語り合う県内のフリースクール代表者たち

行政との連携について田中さんは、「不登校児童生徒の声を一番聞いているのは私たち。その子たちの思いなどを伝える義務が私たちにはある。一人一人の先生と話し合っていくしかない」と強調。さらに「不登校というネーミングも変えていきたい。声を上げていく」と語った。

第2部は希望者による座談会が行われ、会場とオンライン合わせで20人が参加した。

事業の様子



不登校多様な学びを考える会in色麻
トークセッションの様様



不登校多様な学びを考える会in色麻
トークセッションの様様②



不登校多様な学びを考える会in色麻
座談会の様様



不登校多様な学びを考える会in大崎
トークセッションの様様